

◆ 物価高による各種給付事業

事業名	対象者	給付方法	支給金額
物価高対応子育て応援手当	①令和7年9月分の児童手当対象者 ②令和7年10月1日から令和8年3月31日までに生まれる新生児	・1月中旬以降に支給対象者へ通知及び新生児等の申請受付 ・2月上旬から順次支給開始予定	1人2万円 (児童手当登録口座等へ振込)
物価高騰対応生活者支援商品券	昭和36年4月2日から平成19年4月1日までに生まれ、令和7年12月31日において住民基本台帳に登録がある者	・2月中にデジタル商品券コードを送付 ・3月上旬から11月下旬まで市内店舗で使用可能	1人1万円 (デジタル商品券)
物価高騰対応高齢者生活支援給付金	昭和36年4月1日以前に生まれ、令和7年12月31日において住民基本台帳に登録がある者	・2月中に申請書等発送(3月31日提出期限) ・提出いただいた方から順次振込開始	1人2万円 (指定口座等へ振込)

● 決算特別委員会

令和6年度は、過疎対策事業債が前年度比約7億7,900万円の増額となる一方で、後期高齢者医療特別会計の被保険者数の増加、要介護認定者数の増加、公立保育園が前年度末で廃園になったことによる遊具撤去や廃棄物処分がされるなど、少子高齢化・人口減少に対応する1年となりました。

認定第1号「令和6年度勝山市歳入歳出決算の認定について」、認定第2号「令和6年度勝山市水道事業会計決算の認定について」及び認定第3号「令和6年度勝山市下水道事業会計決算の認定について」の審査はこのような状況を鑑み、住民の福祉の増進が図られているかを主眼に実施しました。そこで出された主な意見について報告いたします。

◎歳入歳出決算について

1. 一般会計について

(1) 屋根雪下ろし用の命綱固定アンカー補助については、高齢化による事故を防止するためにも補助内容を充実するなど、普及啓発に努められたい。

(2) 地域防災マップについては、定期的に更新を促し、実情に合ったものになるよう努められたい。

(3) 行政事務連絡交付金は世帯割と均等割のバランスの見直しを図り、業務量に見合った改定を行われたい。

(4) 産業医及び識見監査委員等、月額・年額で定額報酬を支払う特別職については、業務量に応じた適正な対価となっているか検討されたい。

(5) 民生委員のなり手不足は継続的な課題であるため、業務内容の見直しや業務のデジタル化などを検討し、簡素化と平準化を求められたい。

(6) 社会福祉協議会の支援については検討内容を議会にも報告しながら適正な財政支援に努められたい。

(7) すこやかへの維持管理について特に計画はないとのことだが、災害時にも安全確保が求められることも勘案し、新年度に向けて必要な改修等の洗い出しと優先順位などについて

検討されたい。

(8) 保育士不足に対して処遇改善の状況等をPRするなど、子ども・子育てに関わる仕事を志す若者の夢を叶えることにも取り組まれたい。

(9) 市内の子ども達が恐竜に興味を持つ取り組みを充実するとともに、地質及び恐竜に関する学芸員等を充実し、市民向け講演を定期的に行うなど、市全体で恐竜のまちを誇れる取り組みに努められたい。

(10) 実行委員会等に市が委託、補助するイベント事業については、実施団体と協議の上、部署を超えた検討を重ね、事業主体となる会員等にも応分の支援を検討されたい。

(11) 交換留学等の事業を検討し、子ども達の英語教育を充実されたい。

(12) 外来種の駆除、ごみ減量化のためのリサイクル率の向上など、環境保全施策に努め、生活する市民がグリーンなまちを実感し、誇りにできる取り組みを再考されたい。

(13) 不妊、不育治療については、全国に先駆けたすばらしい取り組みであるため、さらにPRに努め、利用者の増加を図られたい。

(14) 除雪にあたってはスクールバス、フルデマンドバスの運用も見据え、市民の安全安心な交通を確保できる対策を検討されたい。